

普及活動情勢報告（令和7年1月分）

安芸農業振興センター農業改良普及課

次作のオクラ栽培に向けて ～中芸地区オクラ反省会～



説明を聞くオクラ生産者

12月26日、安田町、北川村、奈半利町の3ヶ所でオクラ反省会を開催し、生産者24名が参加しました。

J Aは今作の動向と出荷実績について説明し、農業改良普及課は品種による収量の推移、高温期における落蕾障害、SAWACHIの推進について情報提供しました。

生産者から「反当収量5t以上の農家がいたのか」「高温期の落蕾への対策はあるのか」などの声が聞かれました。

今後、農業改良普及課はSAWACHIの利用によるデータ駆動型農業の促進やオクラの増収に向けた支援を行っていきます。

0円でできる樹勢コントロール事例を紹介 ～穴内支部IoP部会を開催～



事例を説明する
普及指導員

12月26日、穴内支部IoP部会が現地視察と勉強会を開催し、生産者12名が参加しました。農業改良普及課は、ナス生産者を巡回し、生産者と共に花色・葉色から樹勢を判断し、適切な樹勢にコントロールするために天窓の温度設定を変更しました。会ではハウス内の温度が変化したこと、樹勢が変化した事例を紹介しました。

参加者からは、天窓設定に関する質問や「できることから取り組んでみる」との声が聞かれ、参加者の環境データ活用や栽培管理に対する意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、今後もJ A等関係機関と連携して生育と環境データを組み合わせた栽培技術支援をしていきます。

令和6年産ユズ玉の貯蔵状況は？ ～貯蔵ユズ玉巡回～



貯蔵玉の状態を確認する
参加者

1月9日、安芸ユズ加工場が貯蔵向けユズ玉の巡回を実施し、生産者4名を含む7名が参加しました。巡回では、ユズの販売状況について情報共有するとともに貯蔵玉の品質や管理状況、今後の出荷計画について確認しました。農業改良普及課は、令和6年産ユズの作柄状況の報告と貯蔵中に発生する果皮障害の対策についての情報を提供しました。

参加者からは「後半は腐敗のリスクが高まるので、適正な管理を行い早めに出荷するようにしたい」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も勉強会や巡回等を通じて、青果出荷農家の高品質化や安定生産に向けた支援を続けていきます。

農福連携をさらに推進!! ～ノウフクJAS認証取得支援～



審査員の審査を受ける
農家

管内では農福連携を推進していますが、1月14日、管内の農家1戸がノウフクJASの認証審査に臨みました。農業改良普及課では、農家への講習会の実施、審査書類の作成支援、生産環境整備の助言などを行い、審査に向けた準備を進めてきました。

農家からは「ハウス内環境の改善点を発見でき、勉強になった」など、経営改善に向けた前向きな意見が多く聞かれました。

農業改良普及課は、今後も農家への理解促進やノウフクJASの認証取得支援を通じて農福連携を推進していきます。